

一般質問



紙本 議員

○6月定例会での一般質問事項の確認について(県道・市道の改善)

質 県道の通行に支障がある沿道樹木の伐採と歩道の落ち葉等の堆積物の除去作業の実施状況や見通しを伺います。

建設課長 県に確認したところ、通行に支障がある沿道樹木の枝などの伐採は、本年度は福島町浅谷地区の一部の区間で9月中に実施、福島大橋から福島港間の一部の歩道に堆積している落ち葉などの撤去は、本年度中の実施に向けて現在準備を進めていると伺っています。

質 福島町内のツバキの植樹区間の管理状況や今後の維持管理について、観光行事のスケジュールを考慮し、県と市の作業を連携するなど、限られた財政の中で効率的かつ「生きた予算」となる維持管理を行うべきではないかと考えますが見解を伺います。

建設課長 福島町内のツバキの植樹区間は県道であり、県が主体となつて管理されています。

現在、発注時期は大体夏前で、受注者で計画され、その中で作業を進められています。市としても作業ス

ケジュールの提案をしたいと考えますが、受注者の都合もあり、スケジュールどおりにはいかないこともありますので、お願いはしていきたいと考えています。

○旧養源小学校校舎等の利用について

質 現状の貸付だけでなく、さらなる有効活用ビジョンについて伺います。

会計課長 鉄筋校舎・木造校舎とも貸付契約を結んでいるため、現状のまま活用する方向性で決定しています。

質 周辺住民の皆さまの安心を守るため、倒木や石垣崩壊のリスクを踏まえた、現場の状況確認について伺います。

福島支所長 旧養源小学校周辺の石垣等の状況は、道路管理上も関連があるため、道路管理者側でもある程度確認をしています。今後、危険な状況がないかは随時確認をします。

質 福島町原地区の自主防災組織への支援と、防災活動拠点について伺います。

防災課長 組織への支援は、10万円分までの必要な資機材を組織と調整の上、寄贈します。

自主防災組織で策定された地区防災計画から、組織の防災活動拠点は原地区集落センターであると認識しています。

一般質問



小川 議員

○学校施設の維持管理と修繕計画について

質 プールなど長寿命化計画の対象外の学校施設は、どのように不具合を把握し、修繕の優先順位を決定しているのか伺います。

教育総務課長 本市の学校プール施設については、老朽化の状況と維持管理コストを総合的に勘案し、大規模改修が必要な状況となった場合、隣接の学校プールや民間プール施設を活用した水泳授業を検討します。本年度は福島養源小学校で民間プール施設を活用した水泳授業を実施しました。

今後、学校プールの施設整備が必要な状況となった場合、学校に相談した上で、民間施設や近隣学校等のプールの活用について検討を進めていきます。

質 物価や労務費の上昇、起債金利、国庫補助や交付税措置、さらに、先送りによる修繕費や劣化の拡大による財政負担を比較して、早期改修が財政的に有利と判断された場合には計画年度にとらわれず、大規模改修を前倒しできるか伺います。

総務課長 全国的に人件費や物価が

高騰する中、公共施設の整備や改修等に係る事業費が増加するなど、その影響を受けていることは認識しています。改修時期を後年度にすることで物価高騰等による事業費が増加する影響と、借入金金利が上昇している中、起債による改修計画を前倒しすることで増加する元金、利子の支払いに係る公債費負担の影響を比較し、節減効果として事業を前倒しする方が有利になることもあると考えます。

しかし、起債事業を集中的に実施することにより、単年度における地方債の新規発行増加額が同一年度の元金償還額を上回ることによって地方債残高が増加し、今後の予算編成において公債費に多くの財源が必要となり、市の裁量で使える一般財源が減少し、財政の硬直化を招くことになり、政策的な判断による事業に制約がかかる恐れがあります。

地方債は元利償還を伴うことから、単に起債事業を増やすことをもって物価高騰対策とするのではなく、事業の必要性や優先度、将来の維持管理経費、後年度の公債費負担などを総合的に判断する必要があると考えています。そのようなことから、今後も財政状況を注視しながら、事業の優先度を適切に判断し年度間の事業費を平準化し、計画的な起債事業を実施していきたいと考えています。